

11月16日(月)

頭でのつながりですか？ それとも心のつながりですか？

聖書朗読 エペソ 2：1～10

人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。

エペソ 3：19

頭か？ 心か？ あなたは神様とどちらで結びついていきますか？ 少し前まで、私は、自分は神様と心で結びついていくと確信していました。私は神様を信じていますし、神様にお祈りします。毎週、教会に行き、教会の働きに参加しています。聖書を読み、良く聞き、神様について多くを知っています。しかし、後になって、私と神様の結びつきは知識に基づいていることに気づきました。つまり頭でのつながりです。心は使われず、空席になっていました。

ひきこもって、魂を求める日々を過ごしたのち、私はこのままでは、救いを得ることができないことに気づきました。教会の仕事に没頭することでは、若いときに自分がした貧しい選択の埋め合わせをすることはできませんし、自らの力で努力して天国に入ることはできません。このことに気づいたとき、私は神様の御前にひれ伏し、過去を償おうとして生きることは、もうできないと思いました。そう私が告白したとき、私の心は「シェリー、わたしはあなたを愛しています。バプテスマで、わたしとともに水の中に全身を沈めたとき、わたしはあなたを許しました」と神様が言われるのを聞きました。その瞬間、神様は、もはや聖書や書物で読んで知っているお方では、なくなりました。神様が現実のことになりました。私の心は開き、心の中に神様がお住みになりました。

あなたの心を調べてみてください。神様はそこに住んでいらっしゃるのでしょうか？ もし、あなたの心の中に神様がいらっしゃるのなら、何が、神様との親しい結びつきからあなたを遠ざけているのですか？

讃美歌 第二編 58

祈り 御在天のお父様。神の国とあなたのために働いている人たちを覚えて祈ります。ただ、彼らは、あなたがどんなに愛してくださっているか、必ずしも十分にはわかっていません。彼らの働きが、王なる主に愛されていることによって沸きあふれる喜びから出てくるように、あなたに愛されていることを、彼らに十分自覚させてください。

イエス様の御名において。アーメン。

シェリー・M・ベイカー
インディアナ州 ラポート

今日の力

2015年11月16日～11月22日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月17日(火)

従うことはあなたのいのちを救う

聖書朗読 エペソ 6：1～4

聞き従うことは、いけにえにまさり、

I サムエル 15：22

一人の男性が電車の操車場にある建物の中で仕事をしていました。彼の息子は外でボールを蹴って遊んでいました。彼が蹴ったボールが線路の向こう側に飛んで行ったので、彼はボールを追って線路を越えようとしてしました。と、まさにその瞬間、列車が操車場に勢いよく入ってきました。父親は開いた窓から外に向かって叫びました。「ジミー、止まれ!」。息子は立ち止まりました。この一部始終を見ていた車掌が父親に言いました。「あなたは立派だ。でも、それは息子のいのちを救ったからじゃなくて、息子を父親の言うことに従うように育てたからだ」。

「あなたの父と母に従いなさい」というのは、十戒と同じ古い戒めであり、約束をとめたものです。その約束とは「そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きをする」というものです。長生きに関する最近の記事は、ダイエットや医療のことばかりで、両親に従うことが長生きに結びつくという記事はめったにありません。

両親に従うことは、文字通りあなたのいのちを救うことができます。両親は往来で子どもの手を取り、子どもに不法ドラッグや無責任運転、その他、危険な行動について警告し、良い選択をするように励まし、神様との親しい関係のお手本になってくれます。

御父に従うイエス様の姿を私たちは知っています。イエス様は死まで御父に従いました。復活と永遠の希望という喜びも知っています。イエス様の従順さが導きとなり、私たちはイエス様の御跡に続きたいと思っています。それこそが、まさしく私たちのいのちを救うことができるのです。

讃美歌 365

祈り 親愛なるお父様。みこころに従う親として、私たちを祝福してください。私たちが子どもなら、親を敬い、従うところを持てるように助けてください。そのことが、今も、これからも永遠に、あなたのみこころであることを私たちは知っています。

イエス様の御名において。アーメン。

ケン・スコット

テネシー州 ナッシュビル

11月18日(水)

絶望するという罪

聖書朗読 コロサイ 1：15～23

なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。・・・御子は、万物より先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。 コロサイ 1：16～17

悪がこの世を支配しているとか、犯罪がはびこり、家族の価値が失われていることに絶望していると言うとき、私たちは人間の罪に注目し、悪魔によって間違った方向に進まされています。でも、神様がこの世を支配されていらっしゃるのです。神様が、この世の政府をコントロールしている人たちを造られ、彼らに国を治める力を与えられたのです。

パウロはコロサイ書1：16～17でこう書いています。『天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。・・・御子は、万物より先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。』

悪魔は絶えず私たちを誘惑し、神様のみこころではないとわかっていることを私たちさせようとしているかもしれませんが、悪魔でさえも神様のご支配の下にあります。もし、悪魔が支配していると考えたら、神様の御力が減少して、悪魔に仕えることになってしまいます。そして、悪魔がすべてに勝り、神様のルールよりも勝ることになってしまいます。

しかし、この世の何ものも、決して神様に打ち勝つことはできません。イエス様は、マルコ3：27で、『確かに、強い人の家に押し入って家財を略奪するには、まずその強い人を縛り上げなければなりません。そのあとでその家を略奪できるのです。』ということ、私たちに思い起こさせてくださいます。悪魔は決して神様を縛り上げることはできませんし、私たちが神様の家財である限り、私たちは略奪されません。神様をご信頼しましょう。絶望してはいけません。

聖歌 269

祈り 親愛なる主よ。あなたがこの世をご支配されているという信仰をもつことができますよう私たちを助けてください。あなたを信頼し、この世も万物も、あなたの物であるということを覚える信仰を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

メリーアン・バスキン

テネシー州 サンアントニオ

11月19日(木)

キリストが私たちを自由にする

聖書朗読 I テモテ 6:1~16

もし子があなたがたを自由にするなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。

ヨハネ 8:36

上司と部下の意見が合わず、仕事上で争うことがあります。そのような場合、サタンが仲たがいという束縛で上司と部下の両方を縛りつけようとしているのです。

上司と部下が一緒に働く場合には、お互いに対する尊敬の念が必要です。相手に対する尊敬の念は、役職の重要性ではなく、相手の人としての重要性を強調します。このような配慮は職場での争いを減らします。

教会においても、愛という共通の絆が、信仰を告白した人たちの間に存在します。この絆は、争いやねたみのない会話ややりとりによってあらわされます。キリストの愛によって私たちは赦され、キリストは私たちに良い行ないを求めていると信じています。私たちは、キリストに倣う者です。

物欲は私たちを囚われの者とし、神様の愛を忘れさせます。神様の愛を忘れると、人への思いやりは焦点を失い、私たちはお金や権力、名声への要望に襲われます。

私たちが救ってくださるために、キリストは自由、満足、平安、慰めを与えてくださいます。キリスト・イエスにある者は、ほんとうに自由なのです。

讃美歌 265

祈り 親愛なる主よ。あなたの子どもであることで見出すことのできる自由と慰めを感謝します。あなたの義の右の手で私を抱き上げ、守ってください、ありがとうございます。

イエス様の御名において。アーメン。

キャロリン・ボールドウィン・タッカー
テネシー州 ナッシュビル

11月20日(金)

神の靈感

聖書朗読 II テモテ 3:12~17

わたしのことばは火のようではないか。また、岩を砕く金槌のようではないか。——
主の御告げ。—— エレミヤ 23:29

テモテは「神のことばは生きていて、力がある」という家庭で育ちました。私と同じようにテモテにとっても、彼が母と祖母のうちに見た神様の真の素晴らしさは、聖書を学ぶ人生に彼を引き寄せる助けとなりました。今日の聖書の箇所、パウロはテモテに、みことばについて2つのことを思い起こさせています。

1つは「聖書はすべて、神の靈感によるもの」であること。アダムにとっては、土地のちりと生きた人間ほどの違いを意味する「神様の靈感 (breath 息)」ですが、このことばは他の11の用例(訳語)とは全く違った、特別の意味で用いられています。「聖書はすべて、神の靈感によるもの」ということが明らかになることは、神様の生きた本質に加わるものであり、神様と同様に、真実であり、永遠であり、重要であり、権威あることです。

パウロがテモテに思い起こさせている2つ目のことは、聖書は神の靈感によるものですから、聖書は当然、有益であるということです。聖書を読まなかったり、使わなかったりすると、何もすることができません。聖書を用いる人たちにとって、この生きたことばは、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられたものです。

聖書は教えることばです。私はすすんでそれを学びます。聖書は、戒めのことばです。私は神様の戒めを受け入れます。聖書は矯正のことばです。私はすすんで自分を変えます。聖書は義の訓練のことばです。「キリスト・イエスにある信仰によって」自分が正しい人だとまわりから思われるように、この訓練を受けます。

讃美歌 501

祈り お父様。人生においてみことばが、生きていて、力があることを望みます。あなたの真に対してもっと心を開き、よく反応する心を与えてください。

生きたことば、キリストを通してお祈りします。アーメン。

ケン・ダラム
テネシー州 ナッシュビル

11月21日(土)

最 善 の 学 び 方

聖書朗読 ヤコブ 1:22~25

だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。
マタイ 7:24

「ねえ、一番の先生って誰だと思う？」とキャシーが母親に聞きました。「あなたにとって、一番いい先生は誰かっていうこと？」と母親は聞き返しました。「それはね、おばあちゃんよ！」とキャシーは言いました。「いい答えね。でも、どうしてそう思うの？」と母親は尋ねました。

「だって、私がチョコレートチップスクッキーの作り方を知りたいと思ったとき、お姉ちゃんに聞くと『料理の本で調べなさい』って、すぐに言ったの。お母さんに聞いたら、お母さんが1回作るのを私に見せてくれた。でも、おばあちゃんの家遊びに行ったとき、私がそう言ったら、おばあちゃんが私に大きなエプロンをさせて、全部、自分で作らせてくれたもの。おばあちゃんが一番いい先生よ」

キャシーは、3つの学び方を体験しました。自分で調べて理解するのは、まあまあ妥当な学習法です。人がやっているのを見ているより、いい方法だと思います。でもベストの学び方は、いきなりでも自分でやってみることです。

ヤコブは、のことをイエス様から学びました。イエス様は「わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、賢い人」だとおっしゃいました。ヤコブは『完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。』(ヤコブ1:25)と書いています。みことばを行なう人になるとき、イエス様に倣うとはどのようなことを学ぶことができるのです。

讃美歌 304

祈 り 親愛なる主よ。あなたの教えを実行できる方法を今日、私に示してください。
イエス様がなさるだろうことを、自分でするような経験をさせてください。
偉大なる師の御名において。アーメン。

テッド・N・トーマス
テネシー州 ジョンソンシティ

11月22日(日)

し み

聖書朗読 I ペテロ 1:13~19

たとい、あなたがソーダで身を洗い、たくさんの灰汁を使っても、あなたの咎は、わたしの前では汚れている。——神である主の御告げ。—— エレミヤ 2:22

私の聖書を開くたびに、暗いしみを目にします。それはコーヒーの不注意なひと口で、そのページは以前はしみのないページでしたが、今では、キレイなページは永遠に失われてしまいました。私はしみを消そうとしました。漂白剤を使ってみたりもしましたが、しみは消えませんでした。聖書に書かれたみことばを通して、御父のおそばに引き寄せられるたびに、しみが目につき、私の罪が、御父にとってどんなに醜く、御父を失望させたかを思い起こします。しかし、神様に感謝すべきことについては、神様はこのような見方では、私をご覧にはなりません。罪というしみを取り除くために、私ができることは何もありません。イエス様がすべてをしてくださいました。私はそのことを永遠に感謝しています。

主はイザヤに『たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる』と言われました(イザヤ 1:18)。ペテロは教会に向けて『しみも傷もない者として、平安をもって御前に出られるように、励みなさい』と書きました(ペテロⅡ 3:14)。

光のうちは歩む毎日において、イエス様の血が私たちを完璧に清めてくださり、私たちを清く、聖なるものにしてくださり、しみから自由にしてください。

十字架は、神様がすべての罪を、
過去、現在、そしてこれからも、
罪を取り除いてくださることを示すものです。
—— チャールズ・スペアー

讃美歌 170

祈 り 親愛なる主よ。落胆しているとき、あなたの驚嘆すべき愛と赦しに集中することができますように助けてください。私たちの罪を洗い流してくださり、再び清くして下さったことを、毎日感謝します。
イエス様の御名において。アーメン。

キャロル・ロドス
コロラド州 プエブロ